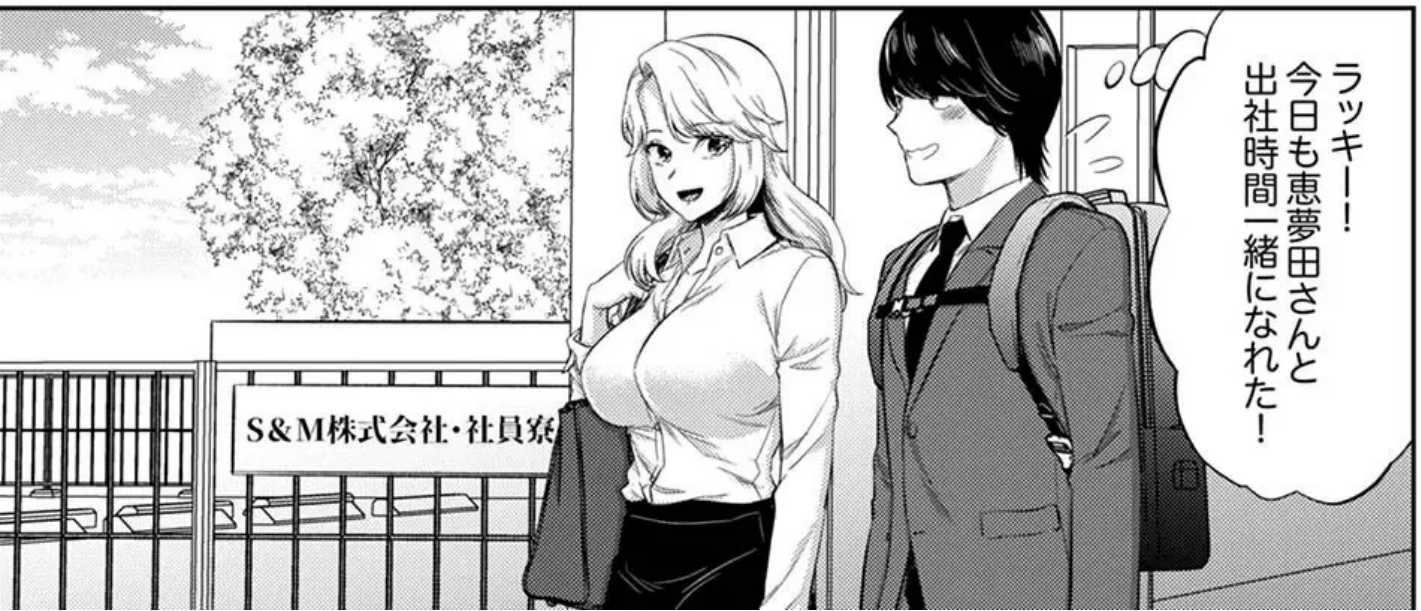
イクまで終わらない
モティカ
1
SM調教ピストン
調教されたい同期はぐしょ濡れ絶頂しました

八重洲(やえす)くん！
おはよう
ドキィッ
よかったら
会社まで一緒に
行かない？
お…おはよう
ございます…
恵夢田(えむた)さん…
ドッ
ドッ
一緒に
行きましょう…


ラッキー！
今日も恵夢田さんと
出社時間一緒になれた！
S&M株式会社・社員寮

凌子！
昨日作ってくれた
資料バッチリで
助かったよ…
いつも
ありがとね
いいい

恵夢田さん…
あの…お礼にお菓子
どうぞ
え～！
気にしなくて
いいのに～
でも
嬉しい！

社員寮で偶然
隣同士に住んでるけど…
彼女は会社の高嶺の花…

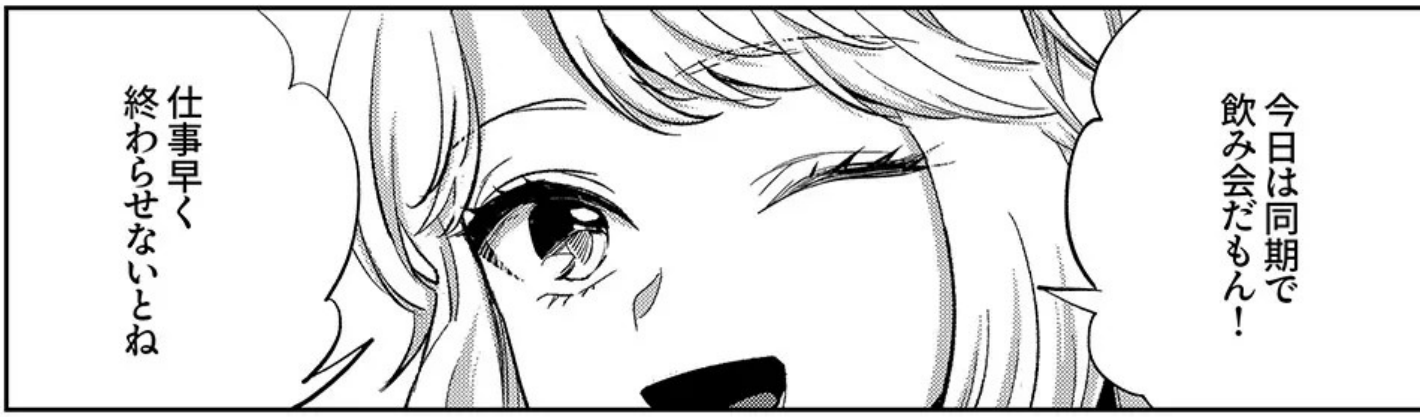
顔が良い
だけじゃない…
仕事も出来て…
ぽー…

よかった～
ぎゅっ

ちょっと
チーフ！
この案件
昼までに
できるよな？
は…
はい…
昼まで!?
ちょっと
キツいな…

あ…あぁ…
じゃ
手伝って
やって
急に昼までは
厳しくないですか？
私にも仕事
ふってくださいよ

書類
半分ちょーだい
ぎゅむっ
は…い…
どうも
ポー…
ハッキリしてて
優しい…
性格も
良いんだよなぁ…！


今日は同期で
飲み会だもん！
仕事早く
終わらせないとね

！！
ざわ
ざわ
すぐん！
お…おい！
恵夢田さん
来るって…
やったな…
珍しいよな
ドッ
ドッ
飲み会苦手だから
急用とか嘘ついて
断ろうと思ってた
けど…
恵夢田さん来るんだ…

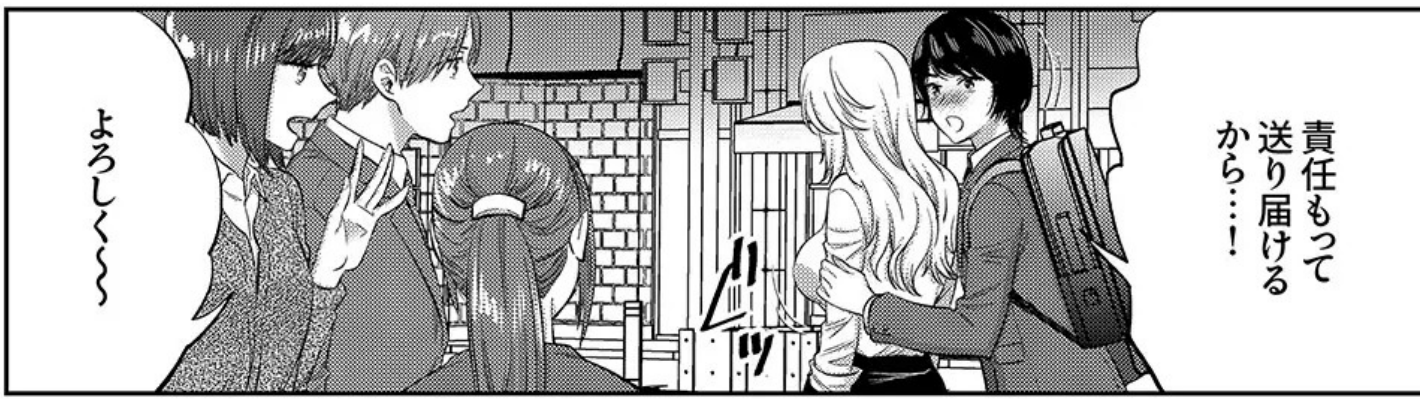
営業中
今日のおすすめ
まぁ…
同じ飲み会に出ても
喋れるわけじゃ
ないんだよな…
わいわい

結構酔ってるね
凌子
家…
社宅だから
近いよね？
俺
送るわ
たのひ
かったぁああ～
たぷ
よろ
待った…！

え～
襲ったり
しない
でしょうね？
そんな
根性ないって
コイツに

俺
社宅の部屋
隣だし送るよ…！

そういうお前が
襲いそうな顔
してただろ…！


責任もって
送り届ける
から…！
よろしく～～

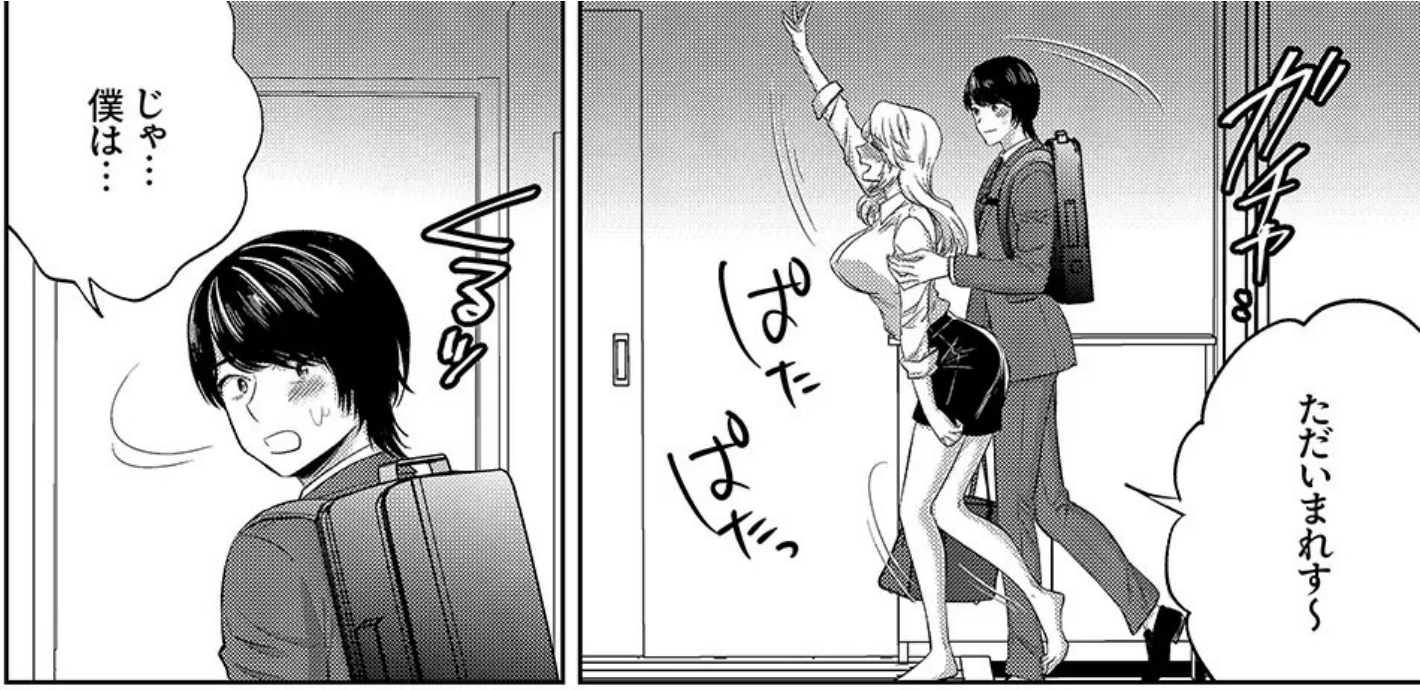
ふふ…
もうすぐ
おうちだね～

もう寮には着きましたよ…
あの…大丈夫ですか？
ふらっ
ぎゅむッ
…！

やばい…酔ってるから…？こんな密着…ッ

らいじょうぶ～！
むっぎゅ

も…もうちょっとだ…
部屋に入らせれば…！

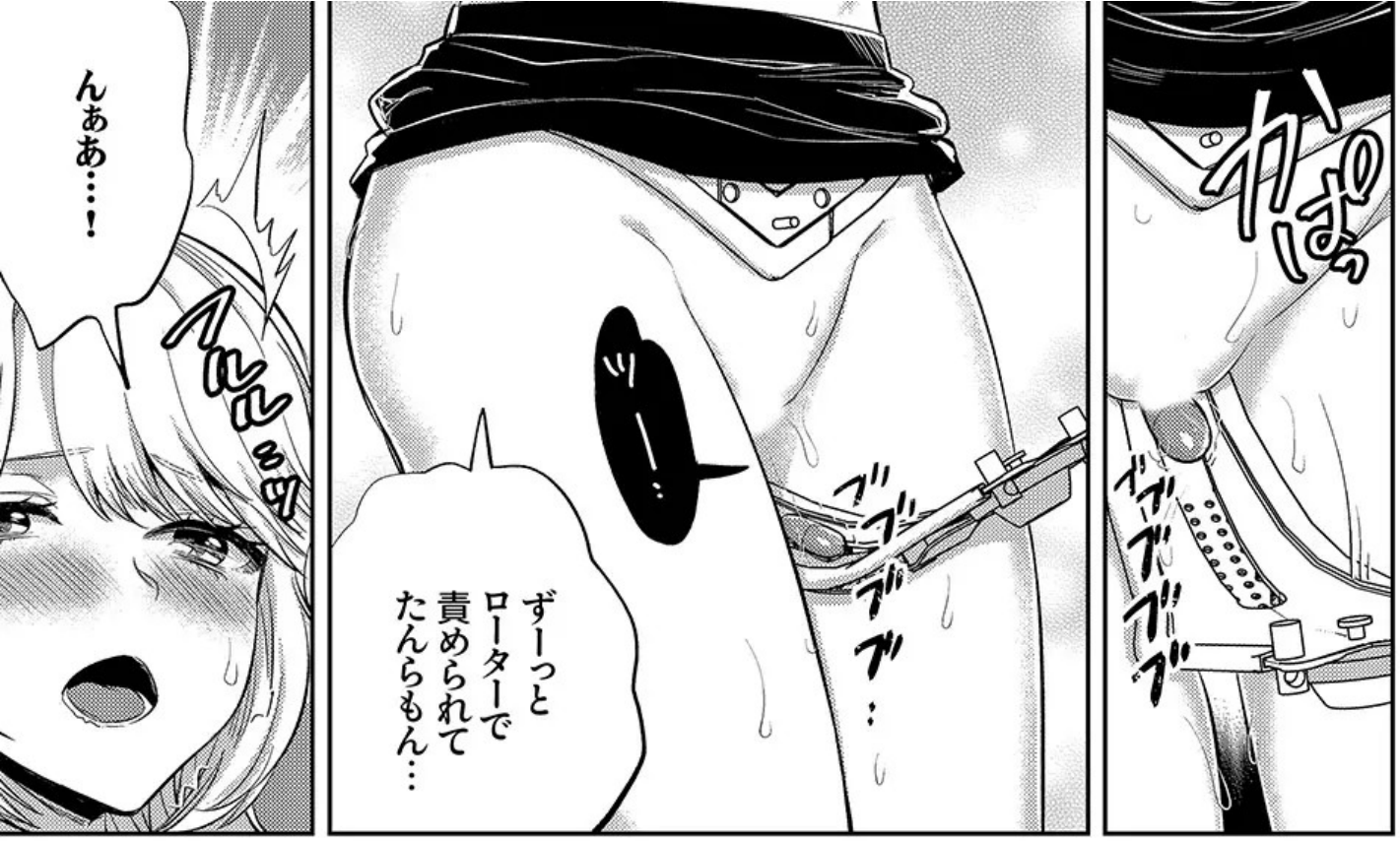

ただいまれす～
ガチャ
まだまだ
じゃ…
僕は…
ハッ

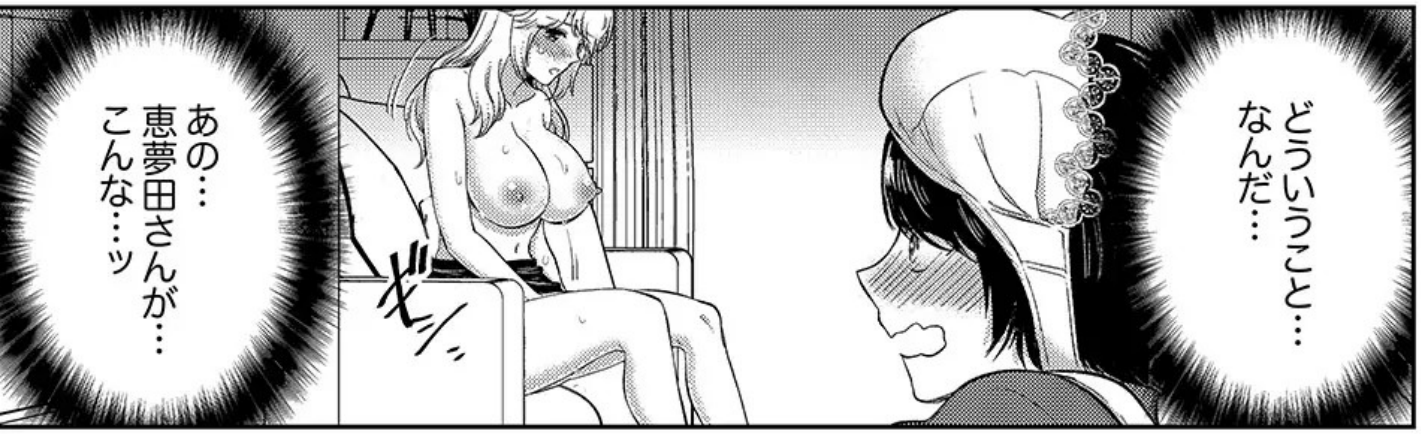
ん～～…
プッ
プッ
ぱい

ふぅ…
フッ…
ポロ…
ポイッ
パク…
…！
くんくん
めちゃくちゃ良い匂いいい…！
くんくんくん…っ
いや…もう自分がいるって言わなきゃ…
ソ…
出て行かなきゃ…ッ
でも…ッ
スル…
あぁ…もう…

今日一日…
本当に…
辛かった…
むにゅっ
…!?
なんだ…
あれ…!?

会社だけじゃ
なくて飲み会まで
ずっと…
さわ…
ビクビクッ
あ…
うんうう…!


ずーっと
ローターで
責められて
たんらもん…
んぁあ…！

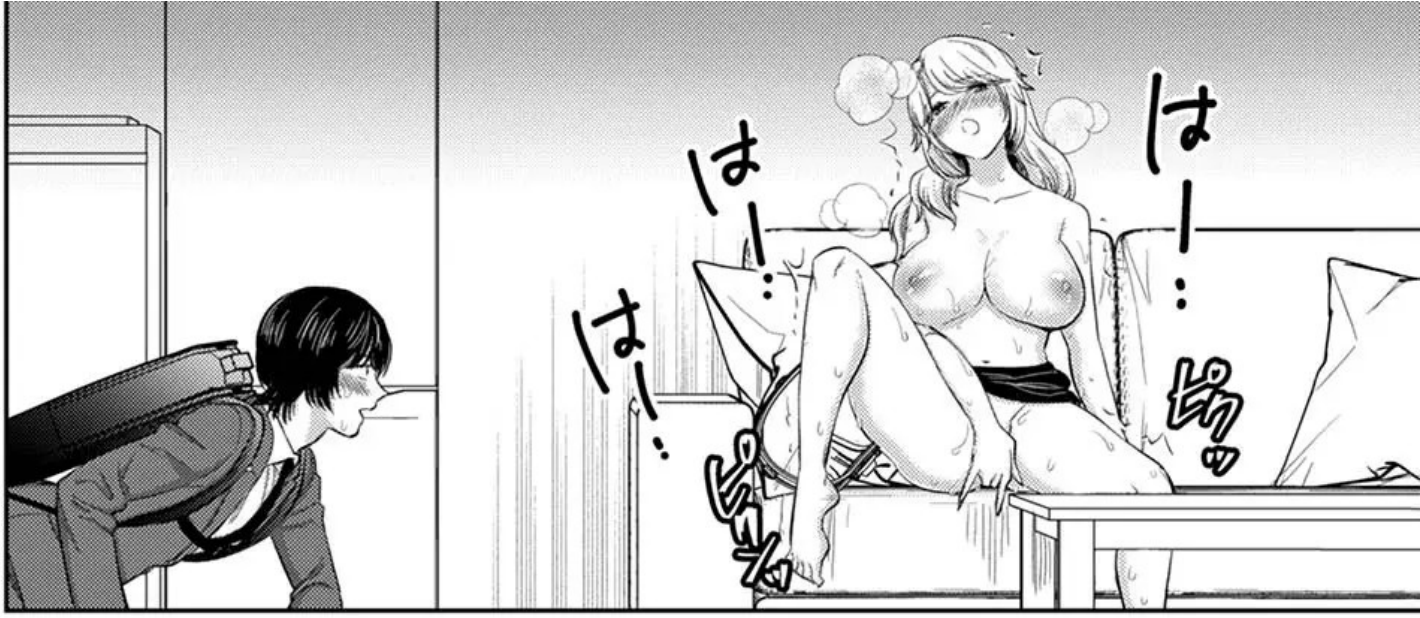

どういうこと…
なんだ…
あの…
恵夢田さんが…
こんな…ッ

やっと…
さわれるぅ…！

いいい…ッ
ビク
ビクッッ
焦らされてたぶん…ッ
ダメだろ！このまま見てるなんて…！
早く帰らないと…！

そっと…出て行けば…
!!

え…!?
はッ
だっ…っ
あ…
あの…!
ビクッ
ビクッ
ビクビクッ
あ…あぁあああ…ッ!
!?

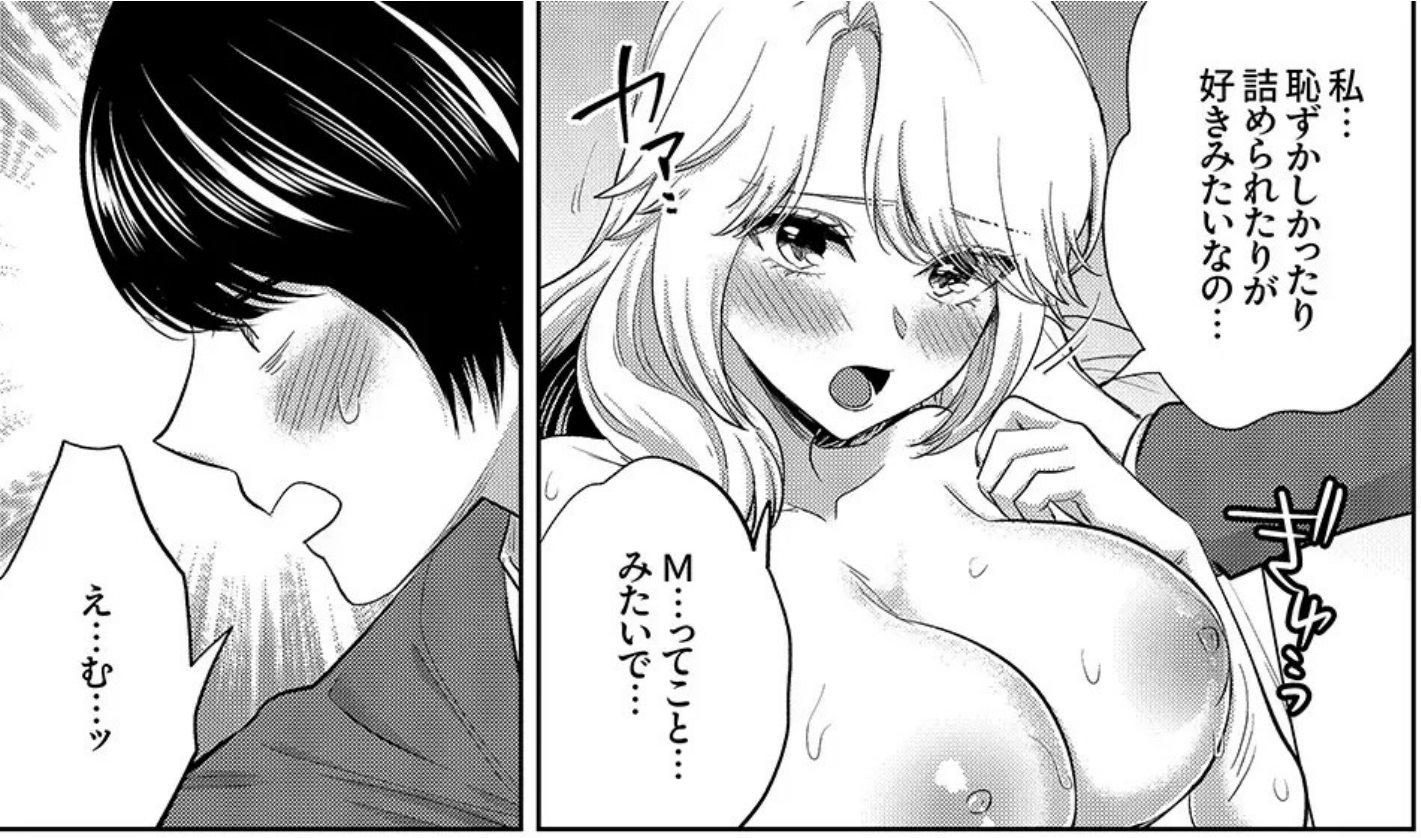

はー…
はー…
はー…
ピクッ
ビクッ

はっ
はっ
ガァァ
ビクッ
まさか…
見られてたなんて…
思わなくて…ッ
あぁあ…
見られて…
イっちゃったぁあ…
ビクビクッ
ゴニョッ

すすすみません…!!
送っただけで…
帰ろうとしたんですけど…!
ばッ
同僚の前で…
こんな…
貞操帯なんて
してるのも見られて…

オナニーして…
ウルッ
私…私…ッ
ヤーー…
…!
ぎゅっ
ムル…ッ
全部見られてた
なんて…

すっごく
感じちゃった…！
はぅ…♡
え…！
おにゅっ
え…えええええ！
恥ずかしくって…
最高…
ねぇ…
もっと
恥ずかしくして
…ッ
ガタッ
ぷるんッ
え…
恵夢田さん!?


私…
恥ずかしかったり
詰められたりが
好きみたいなの…
ヤマ…
ぎゅっ
M…ってこと…
みたいで…
え…む…ッ

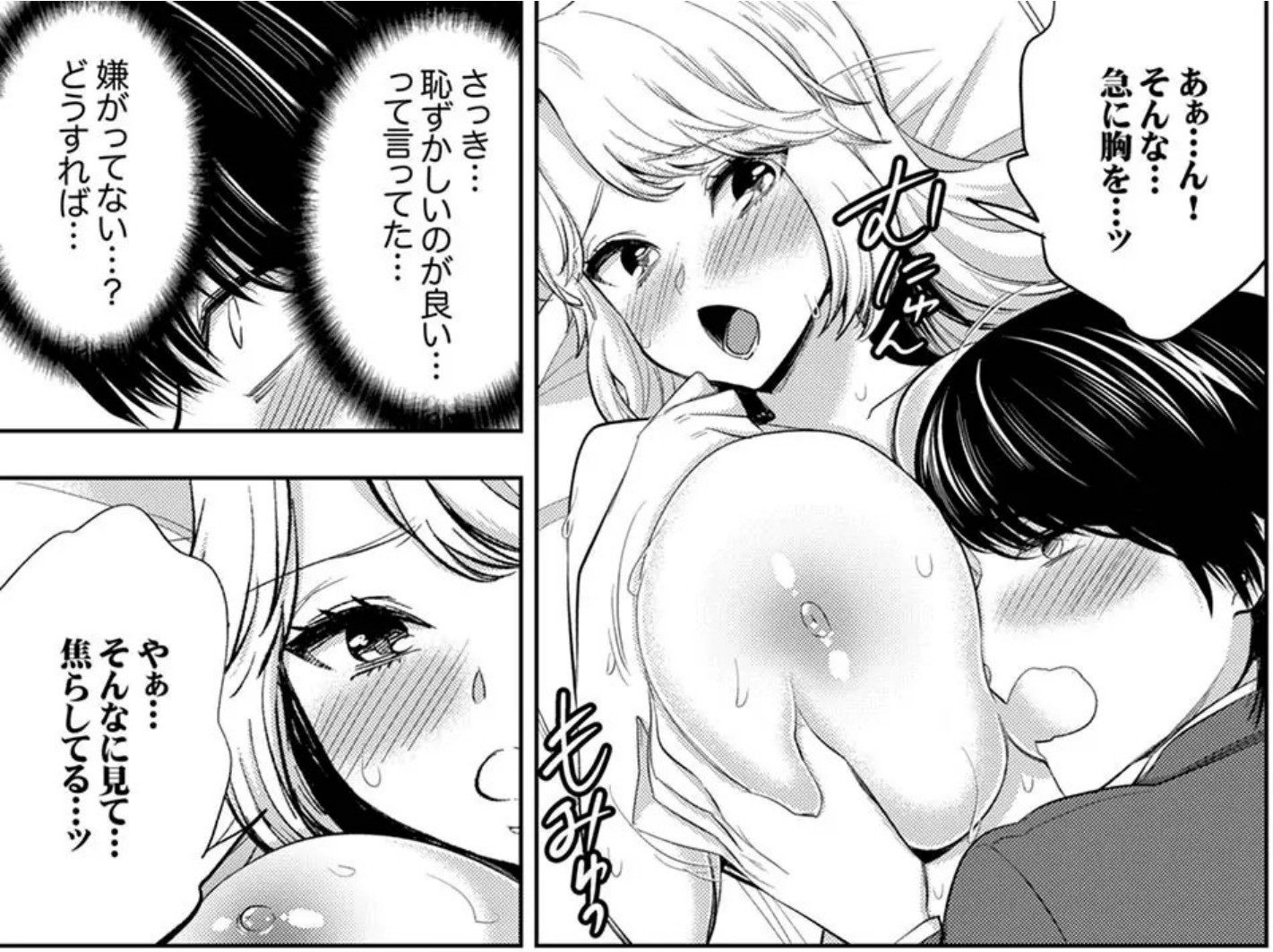
それでずっと
ローターや貞操帯
つけたまま
出勤したり…
一人で羞恥プレイを
してたんだけど…

マジか…！
あの朝の
時からも…!?
ずっと…
相性の良い人が
見つかるかもって
思ってた…
ウルッ
私を
虐めてくれる
Sな人…

八重洲くん…
かもしれない…
じぃ
ずっと憧れてた
同期が…
どくっ
どくっ
こんなM…
だったなんて…

それなら…
俺は…Sに…
ギリッ
恵夢田さんを
満足させられる
Sになるしか
ない…！

…!!
がばっ
あッ
恵夢田さんの…
胸…！
ムギュウッ
やわらか…！


あぁ…ん！
そんな…
急に胸を…ッ
むにゅん
もみゅ
さっき…
恥ずかしいのが良い…
って言ってた…
嫌がってない…？
どうすれば…
やぁ…
そんなに見て…
焦らしてる…ッ

え…
見てればいいの
…かな？
すっごい綺麗な
色の乳首…ッ
レロ
あぁ…ん…ッ
ぷくんッ
レロッ
乳首おっきく
なっちゃう…ッ
恥ずかしい…ッ

ほんとに
コレでいいのか!?
でも…
何もしないまま
見てるなんて…
じ
はっ
はっ
蛇の生殺し…ッ
はむっ

ひぁあ…!
ちゅうう
あぁ…!
やぁあ…ッ
ビクッ
ちゅう
ビクッ
ちゅう
ビクッ
だめ…ッ
そんな…
吸っちゃ…!
ごめ…!
ちゅぱっ
んんぅ…!

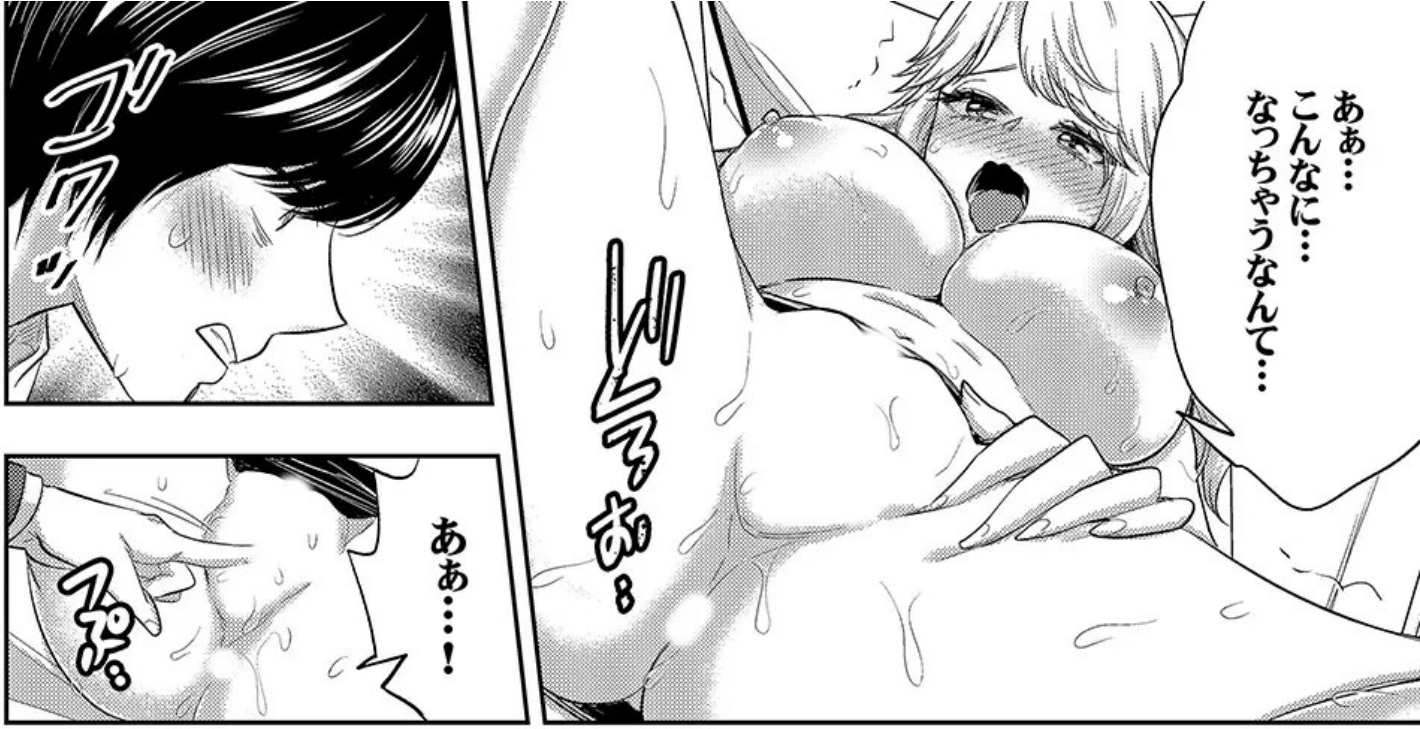
はー…
ねぇ…
こっちも
見てぇ…
ぱっ
…！

すごい…こんな…
濡れてるなんて…
レロッ
ぺろ。

ヒクッ
いや…！
恥ずかしい…！

あ…
ごめ…
いや…
恥ずかしいのが
良いんだっけ…

ごめんなさい…
そうなの…ッ
ヒク
ビクッ
好きなのぉ…ッ


あぁ…
こんなに…
なっちゃうなんて…
ブワッ
ビクッ
あぁ…！
ブルッ

すごい…
締め付けてくる…
ビクッ
ビクッ
んんぅ…！
ちゅっ…
きゃうんっ

恵夢田さんは
恥ずかしいのを
喜んでる…
なら恥ずかし
がらせれば
いいんだよな
…？
指一本だけでも
感じてるんですか？
ゾクッ
…ッやぁ…
はずかし…ッ

こんなに濡れてるとこ…
舐められたら恥ずかしい？

え…そんな…！
ぁぁあああ…！
凄い音…
やぁあ…言わないでぇ！

喜ばれてる!?
ドクン
ちゃんと
答えてください…
ビクッ
ビクッ
ちゅるる ちゅ〜っ
だめ…
だめぇ…!

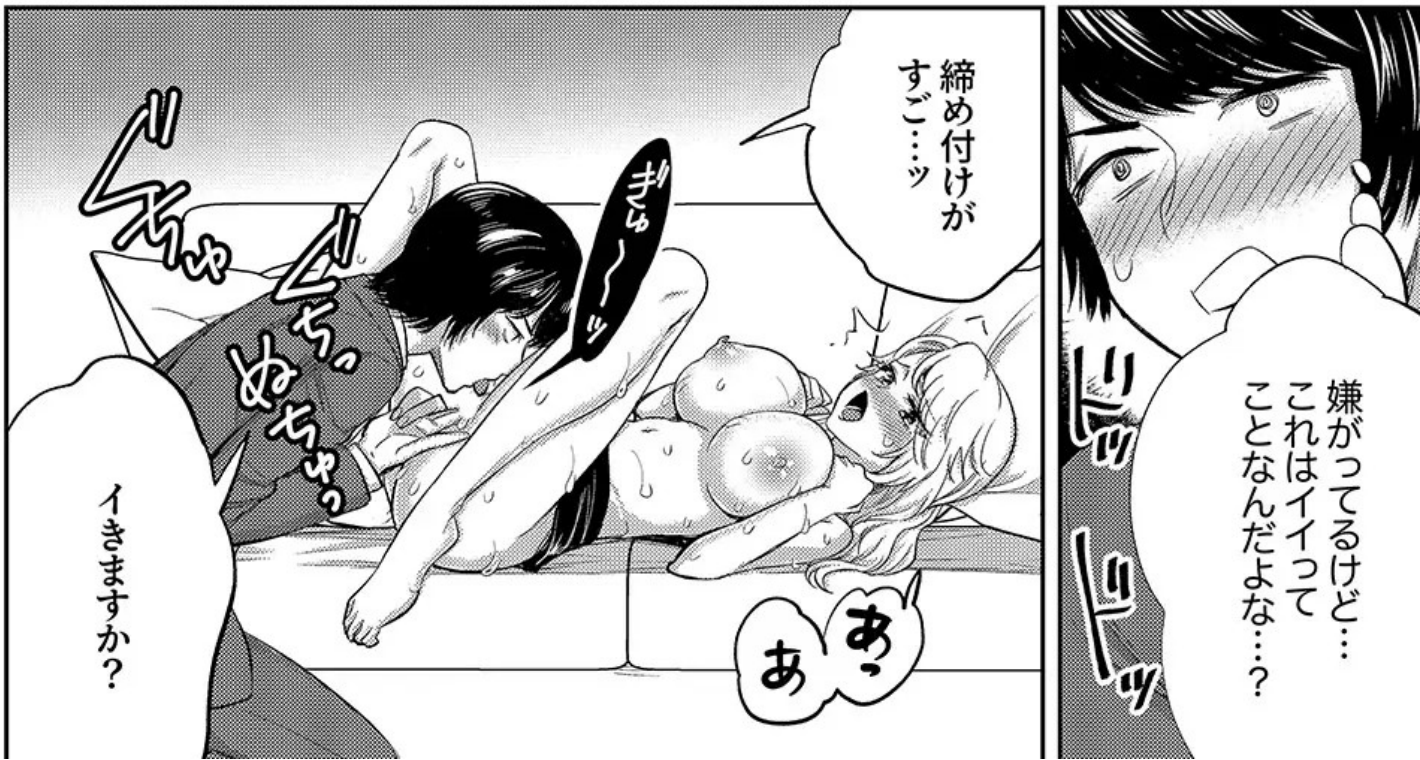
どうしてこんなに
溢れさせてる
んですか…?
恥ずかしいの
好きなら
言えますよね?
どろっ
チカ
チカッ
やぁああ…!

イクまで終わらない
モティカ
2
SM調教ピストン
調教されたい同期はぐしょ濡れ絶頂しました

あぁあ…！
ちゅるっ
ちゅるっ
ビクッ
ビクビクッ
あぁあ！
こんなに
溢れてきたら
栓しないと…
くぷ。
ビクンッ
あぁあ…！

ぬちゅぐちゅ
ふぁああ…！
ビクンッ
あ…！
あ…！
ビク
ビク
コロコロ
くちゅぬちゅ
クリ…と
中と両方…ッ
ビクッ

凄いな…
俺の指
美味しそうに
飲み込んでますよ
ヌちゃ
アアッ
言わないで…
そんなぁ…！
でも言われると
嬉しいでしょ？
中まで
震えてますよ
くぱっ
ビクッ
ビクッ
やぁああ！
見ないでぇ！

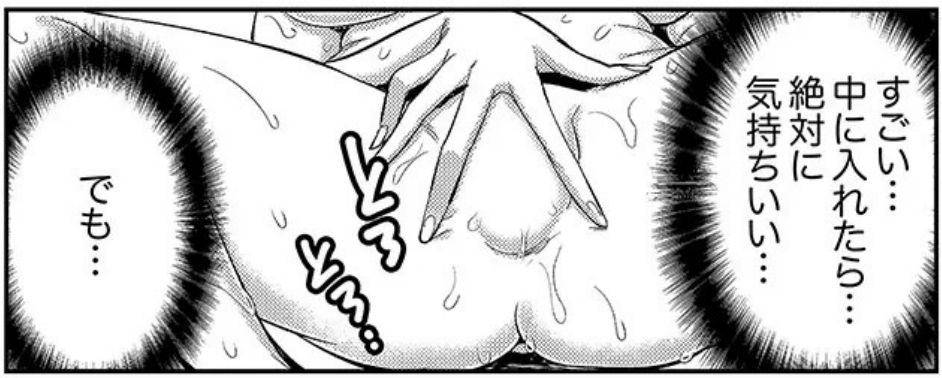

嫌がってるけど…
これはイイって
ことなんだよな…？
リッ
リッ
締め付けが
すご…ッ
ヌちゃ
ぬちゃ
あっあ
イきますか？

あぁあ…！
イっちゃ…
あう…っ！
チカッ
あぁあ…!!
ビクッ
ビクッ
ぎゅ〜〜ッ
ビクーンッ
あぁああ——ッ

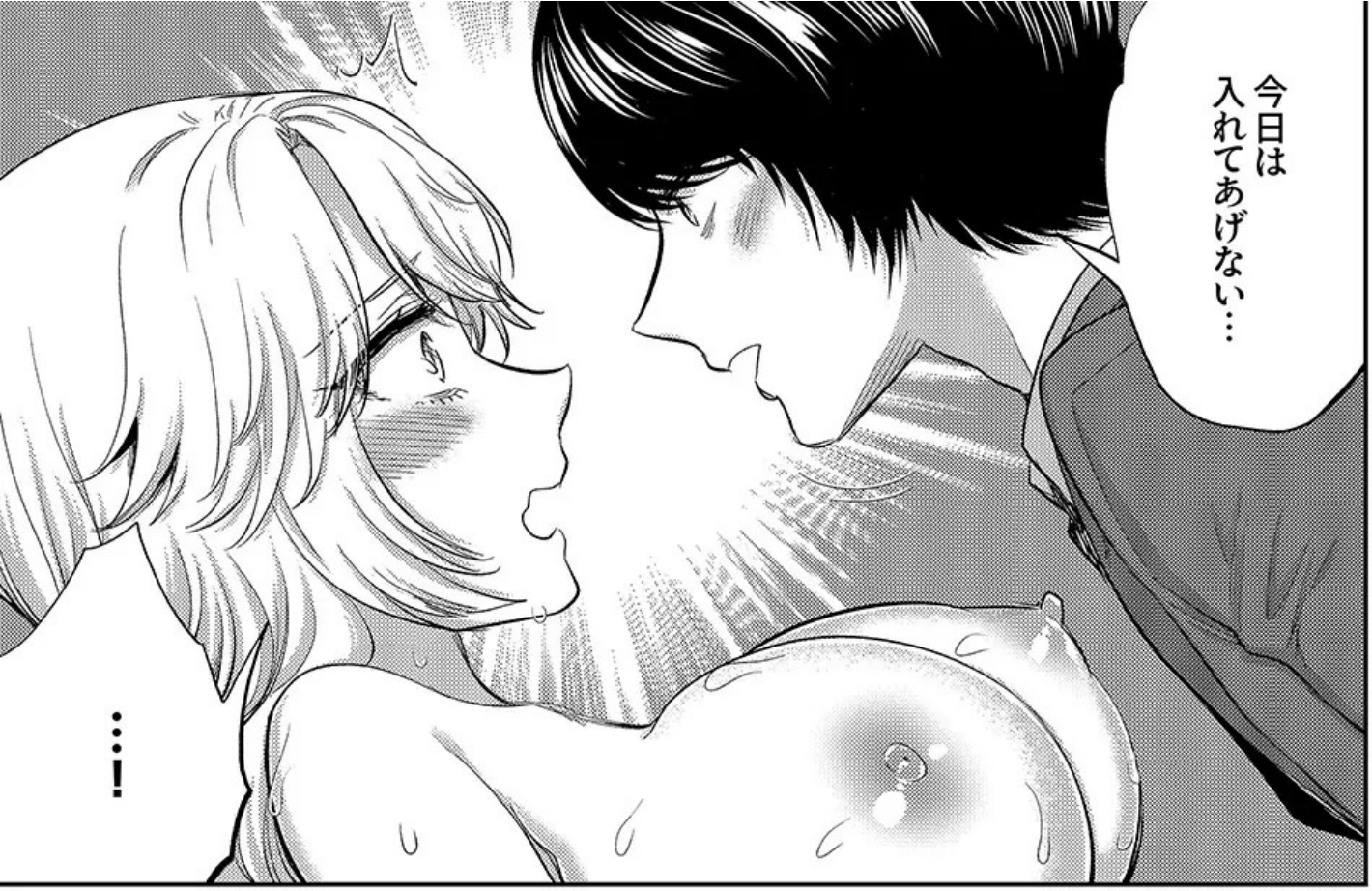
はー…
はぁ〜。
ぴくっ
ぴくっ
八重洲く…ん…
すごい…
とろ…
ドキッ
…！

私…
もっと奥まで…
イジメて欲しい…ッ
くぱっ
とろ～…

…!!
クプッ


すごい…
中に入れたら…
絶対に
気持ちいい…
でも…
とろ～ん…

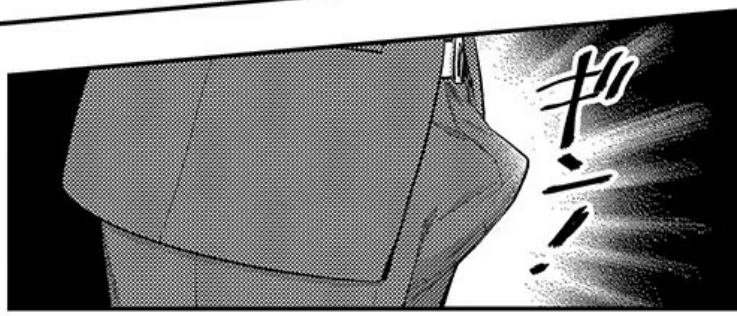
俺は恵夢田さんの為に
Sになるって決めた…
ここで恵夢田さんを
喜ばせるドSな対応は…

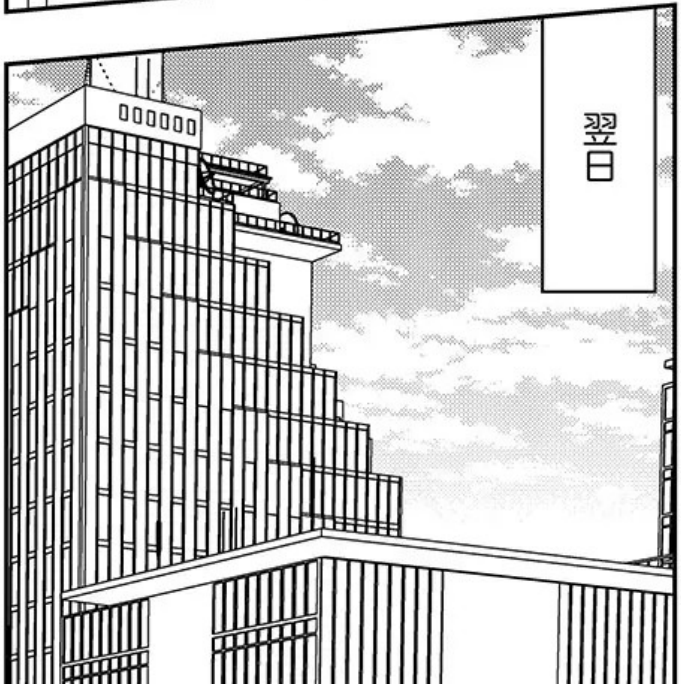

今日は
入れてあげない…
…！

明日まで…
焦らすから
とろん…っ
…!!
きゅ～ん…
は…い…
わかりました…ッ

よし…
上手く行った
みたいだ…！
それじゃ…
また明日…

ガチャ


ヤー！


翌日

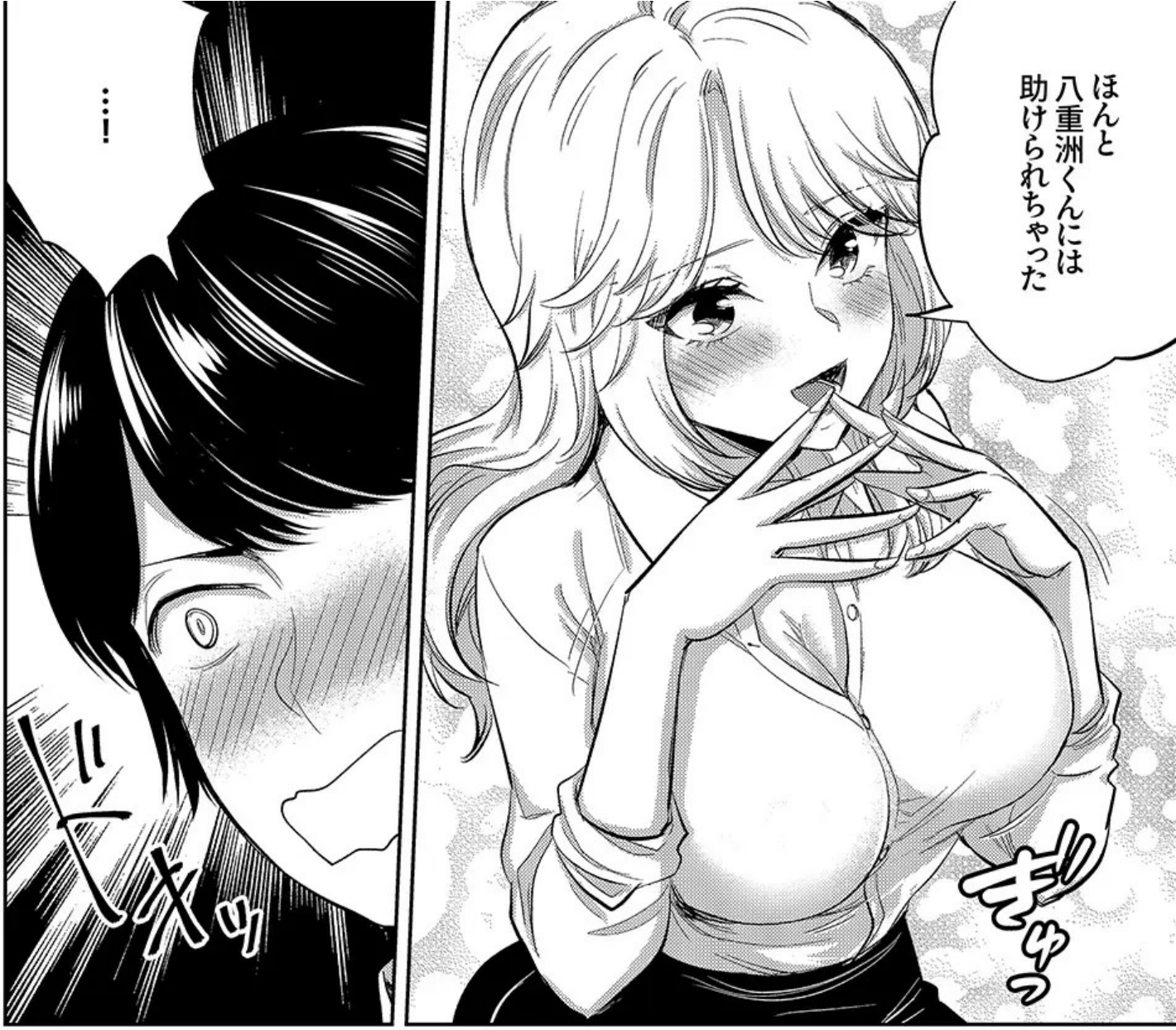
俺も辛い…
けど
恵夢田さんの
為だ…！

ばちっ
フイッ
…！
ドキンッ
…ッ

今日はわざと
出勤時間を
ずらしたから
初めて目が合った…
朝会ったら
決意が揺らぎ
そうだったし…

よ～
昨日はちゃんと
恵夢田さんを
送ったんだろうな？
襲ったりして
ないでしょうね？

しっかり…
送り届けたよ…！
まさか
あんな光景を
見ると思わ
なかったけど！
なに赤く
なってんだ？
も～
からかい
すぎない！


ほんと
八重洲くんには
助けられちゃった
むぎゅっ
…！
ドキッ

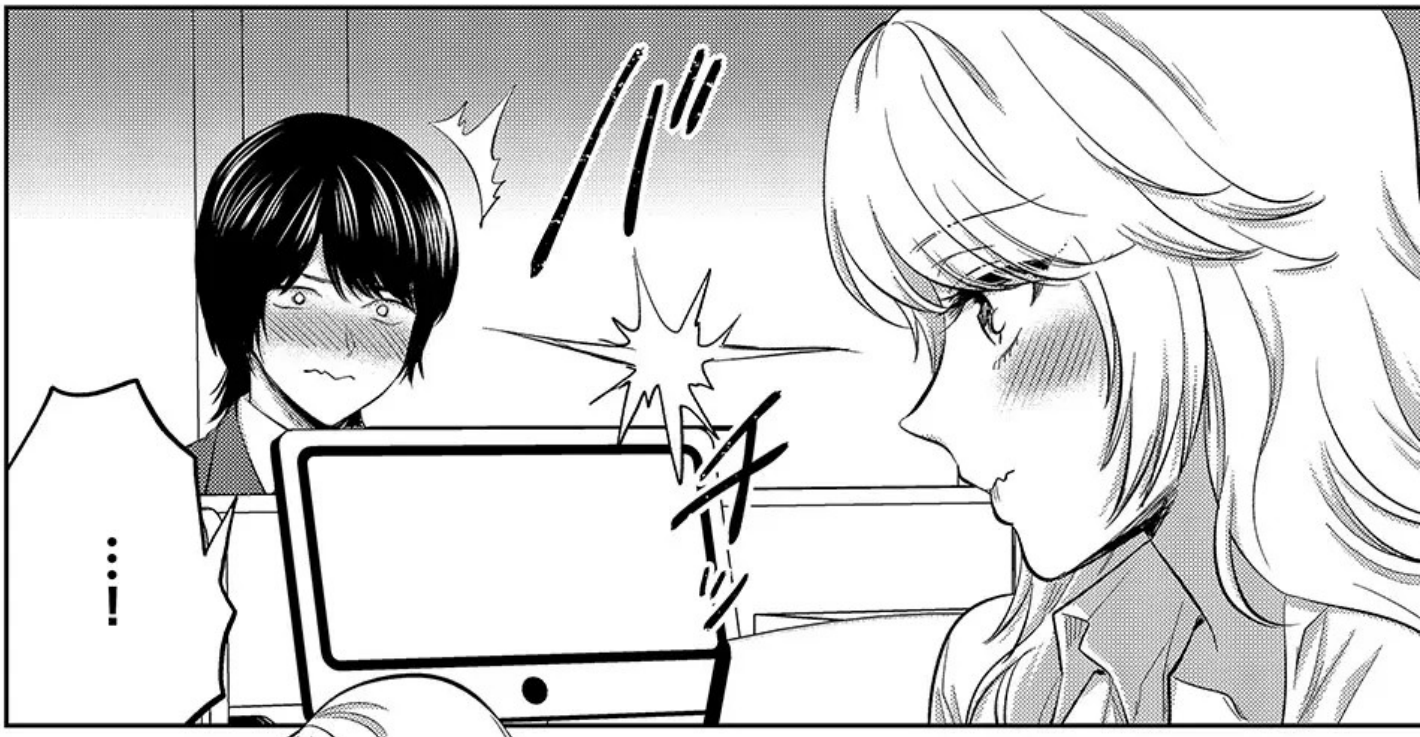
クソ…！
恵夢田さんに
感謝されやがって
ほんとに
ありがとね
むぎゅっ
い…いえ
どうも…

ほら何騒いでる！
仕事だぞ
はーい…

げ…
今日も
俺の担当案件
やっかいだな…

ゾロッ
チーフに
目つけられてるのか？
フン
昨日も無理めの
案件量だったし…

チッ
チッ
クソ…
思った通り
残業だ…
カラン
チッ…
恵夢田さんを
焦らしすぎることに…


…!

帰って
なかったんですね
だって八重洲くん
残ってるし
少し手伝うね
あ…!
ありがとう
ございます…

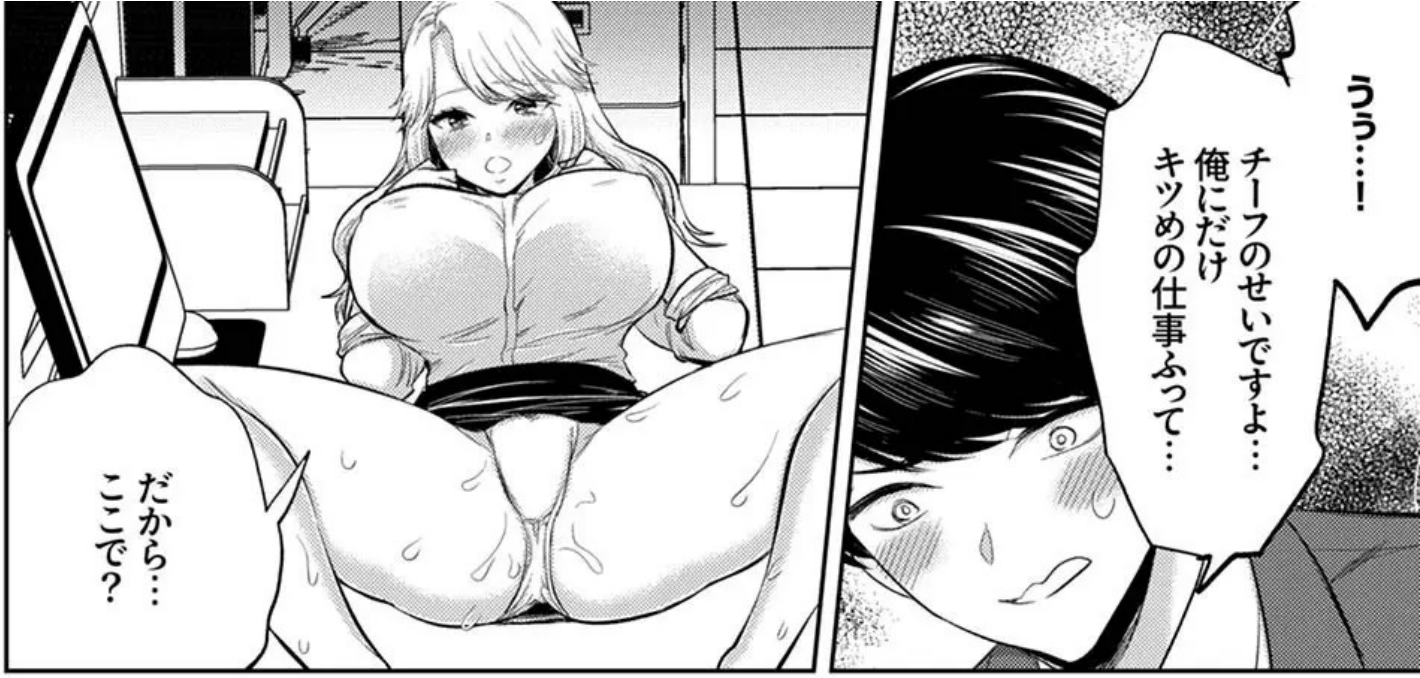
こっち余裕あるから手伝うとこまだあったら言ってね
ありがとうございます…！
あ…焦らされすぎて下着の中で乳首が…！
…どこまで焦らされるんだろう…
私…もう…
ドッ
ドッ
ドッ
フリ
フリ
ドックン
気持ちいいけど…でも…
早くシて欲しい…ッ
チ
チ
終わった…ッ
私も…ッ

ぷちっ
…ッ
チュッ
八重洲…くん…
スルっ

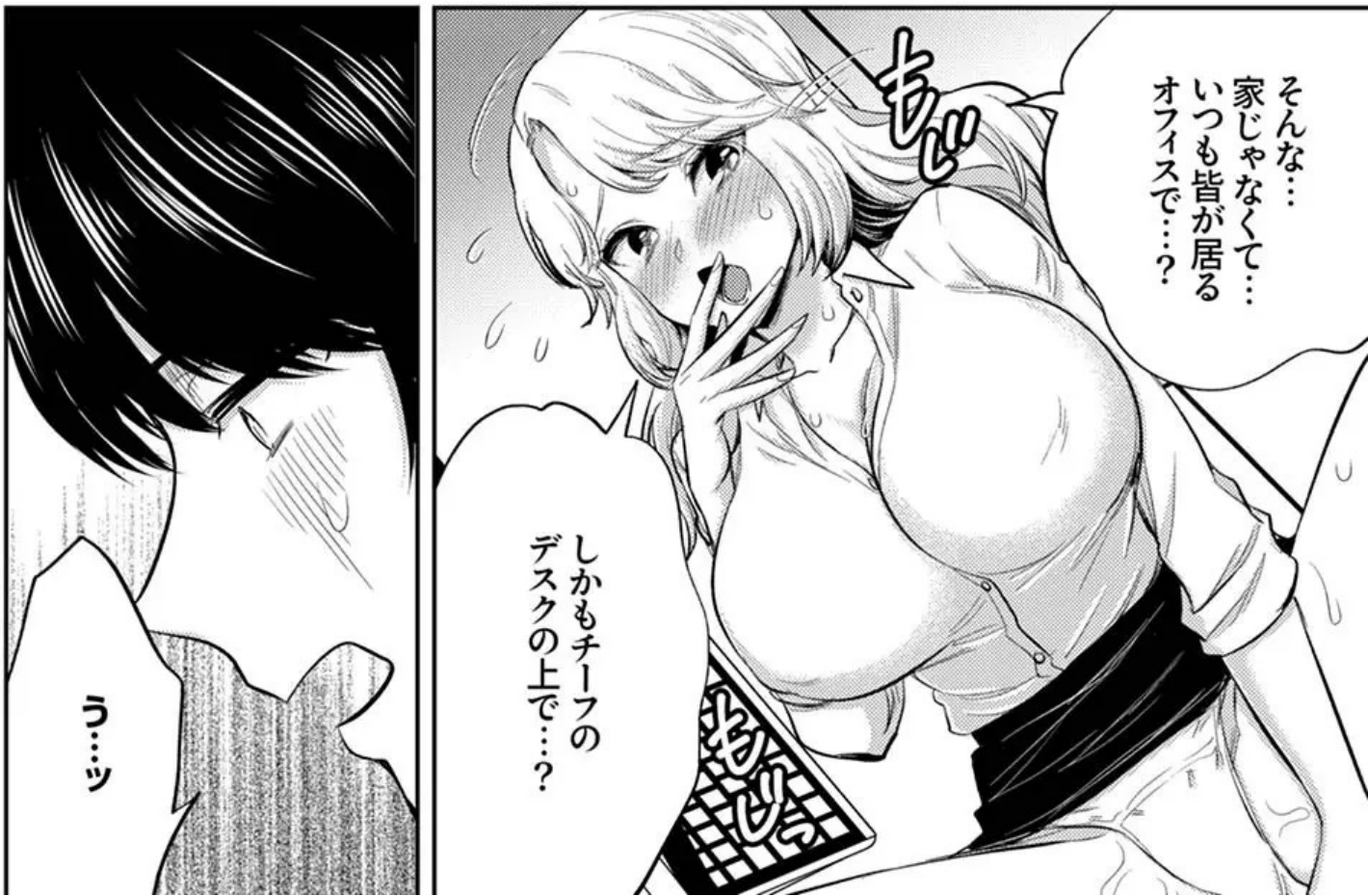
…ッ！
ぎゅっ
あぁ…！
や…あん…！
スリっ
ビクッ
あ…ッ
あ…ッ
ビクッ
ビクッ！

え…
もしかして…
ピク
ぱっ
ピク…ッ
ぐしょぐしょになってる…
イっちゃったんですか…？
ああ…ッ
クチュっ
スッ

うぅ…！
だってえ…！
カアアッ
フルッ
おぎゃっ
ガタ
本当に…
感じやすいんですね…
八重洲くんが…
焦らしすぎるから…ッ


うぅ…！
チーフのせいですよ…
俺にだけ
キツめの仕事ふって…
だから…
ここで？

そう…
早くしないと
恵夢田さんも
我慢できないでしょ？


そんな…
家じゃなくて…
いつも皆が居る
オフィスで…？
もじ
しかもチーフの
デスクの上で…？
もじっ
う…ッ

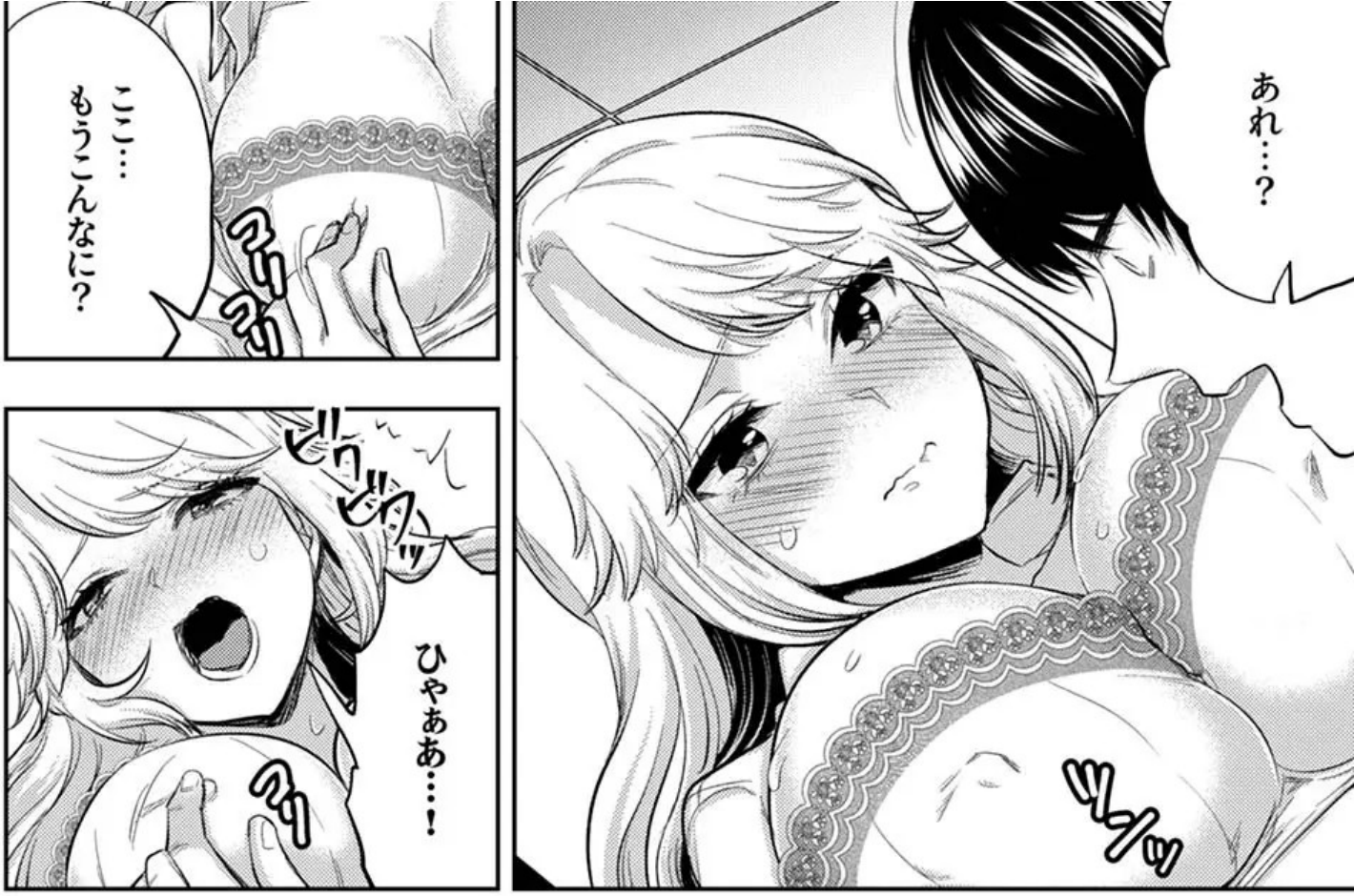
すっごく…
イイ…！
とろーん。

いいんだ…！
ホッ

良かった…
俺の私怨でも
あったけど
恵夢田さんを
興奮させられた
…！
ポー…

ほんと…
こういう
シュチュエーションが
イイなんて…
あ…！
ビクッ
ポッ
ペッ

あぁ…！
ぷるんッ


あれ…？
ここ…
もうこんなに？
ひゃぁあ…！

どうして
乳首こんなに
なってるんですか？
だってぇ…
焦らされ
すぎて…ッ
本当に
やらしいな…ッ
あぁ…！

こんなに
立ってる…
ピンッ
ピン…！

言わないでぇ…ッ
カリカリ

ずっと
弄られるの
想像してたん
ですか？
んっ
んっ

ひん…！
そ…
そんなこと…

こうされるの
想像しました…？
あぁああ…！

あぁ…ん！
ちゅぱっ
ピクッ
ビクビクッ
あ…！
もう片方が寂しいですか？
ピクッ
ピクッ
うん…ん…ッ
フルフル

乳首…自分で舐められるんじゃないですか？
ゾーン
ゾクゾクゾクッ！
ええ…！
ピク。！。
あ…！

ほら…
同じように
舐めてください
れろ
れろ
ぺろ
うぅ…！

ブルブルッ
ちゅっ
ちゅうっ
れちゃ
れろっ
恥ずかし…
いい…！

こういうのも
イイんだ…！

ぎゅるるッ
あぁ…
もう…ッ
きゅっ

…我慢できなくなって
きたんですか？
やらしいな…
がばっ

あぁ…ん…！
きゅん…っ
うう…ッ

こんなに濡らして…
早く挿れてほしいですよね…？
でも…もっと濡らしてからですよ
お願い…早くぅ…！
あぁああ…！

こんな…
チーフのデスクの上で…
エッチなこと…ッ
ビクビク
いつも…
皆このオフィスに
居るし…
働いてるのに…！

あぁ…
だめぇ…！
ビクンッ
もうぅ…ッ
こんなに濡れてるのに
まだまだ溢れてくる…
ちゅぱっ
フルルッ
あぁあ…！

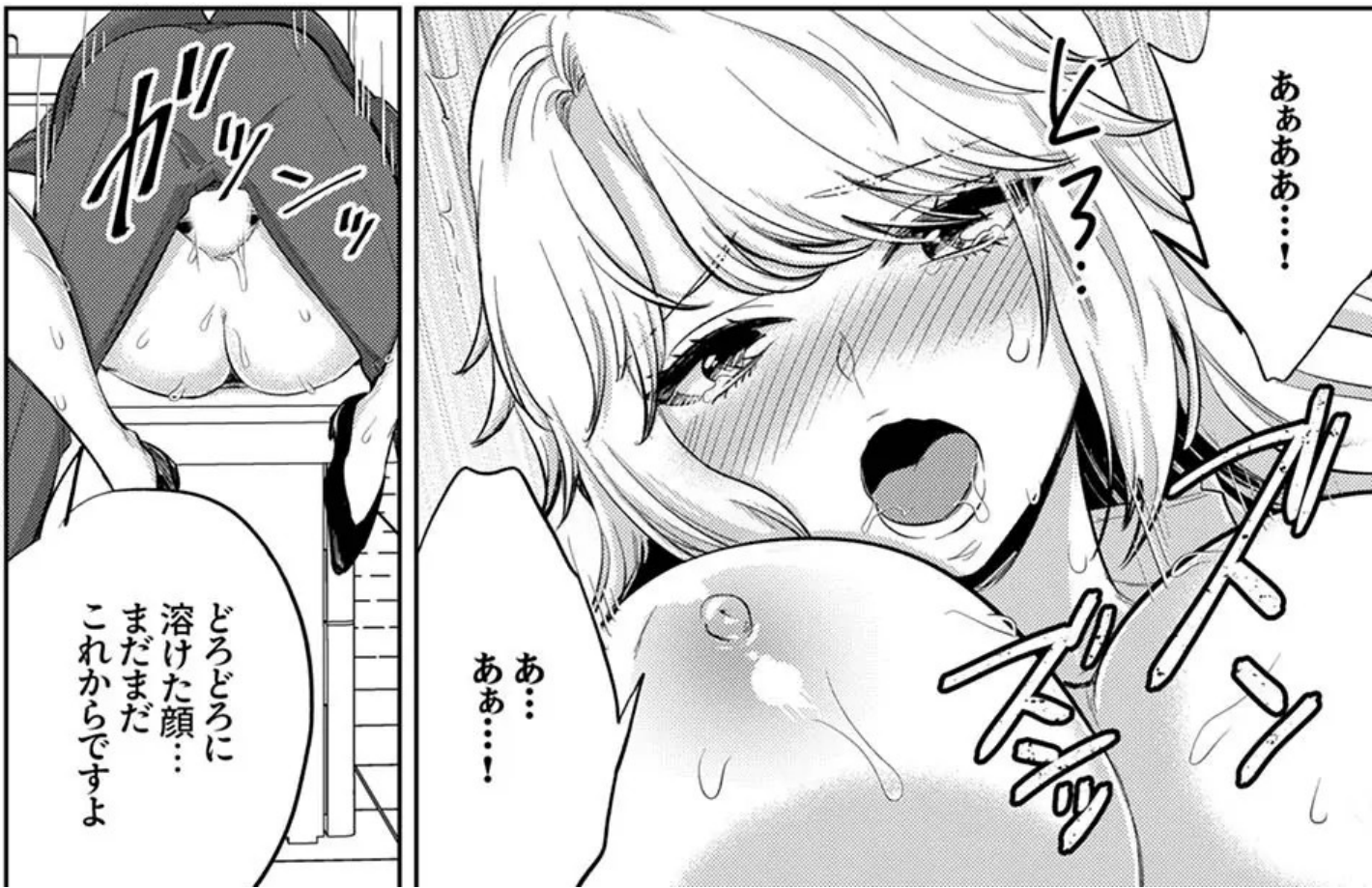
欲しいですか…？
欲しい…ッ
それなら…
上手くおねだり
出来ますよね？
こういうことも…
言わせたほうが
いいかな…？
すくんっ
…！

うるっ
私…のナカ…
挿れて…ほしい…！
八重洲くんの…
熱い…の
さわっ
ナカっ
くいっ
くんっ
…ッ

あ…あぁ…！
凄い…
締め付けが…！
きゅっ
あぁ
だって…ぇ！
とろ…
あ…！
言葉責めに
なってた…！
沢山…
沢山突いて…
奥…う！
スッ…ッ
スッ…ッ
言われた通りに
するのも…ね
ブルルッ
やぁあ…！
抜かないで…ええ！
ズルー…
あぁあああ…!!
ビクッ
ビクッ
ビクッ

ビクンッ

あぁああ…！
ぐるッ
すごい…
奥までナカが
うねってますよ……
ズン
ズン
ズンッ


あぁああ…！
レろ…
あ…
あぁ…！
ガツーンッ
どろどろに
溶けた顔…
まだまだ
これからですよ